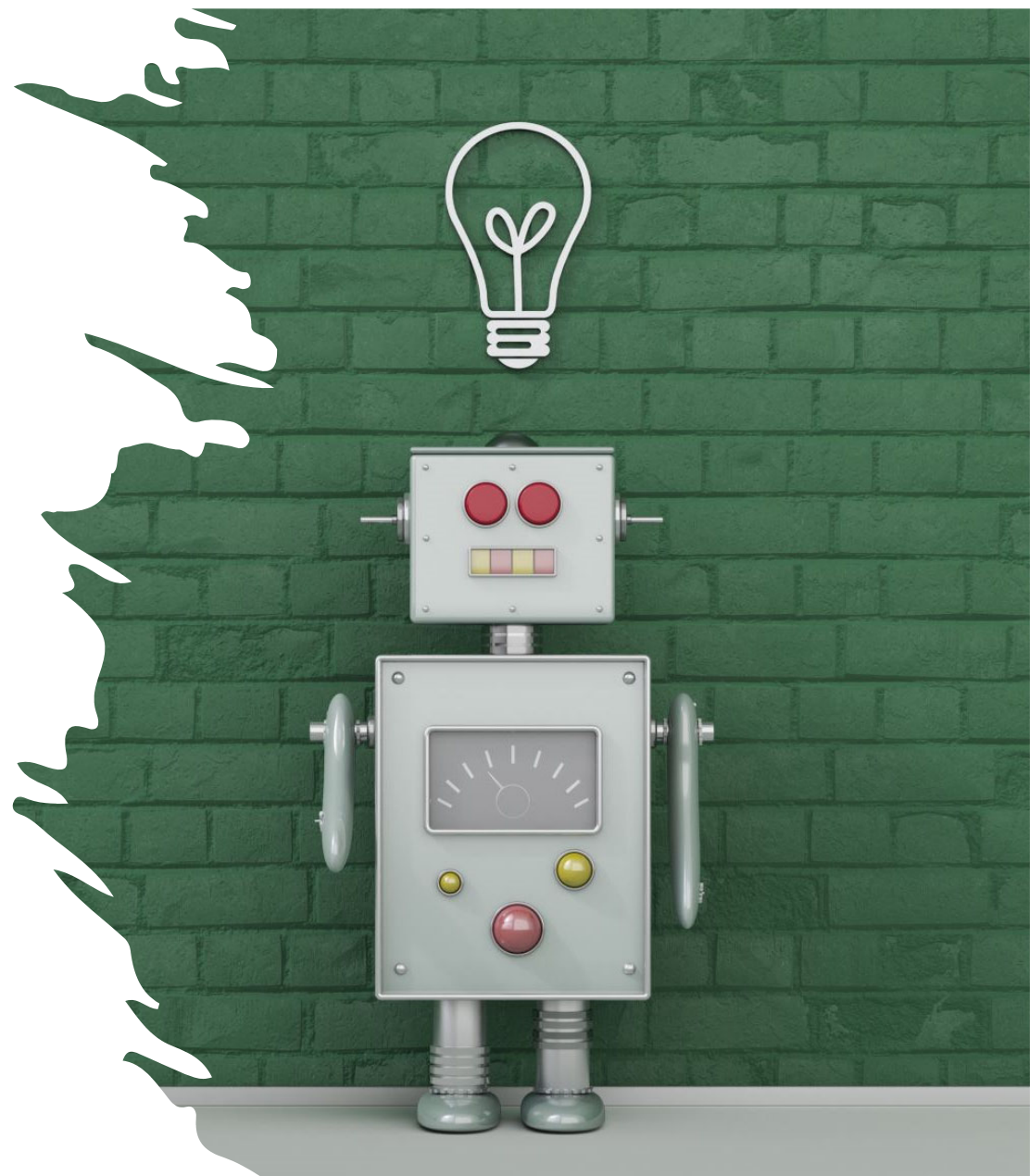


JACICルームの 利用

多機能な仮想会議室を提供



DX時代のマネジメントへの誘い

- はじめの一步は、「仮想会議室」の利用
 - Web会議システム、ファイル共有システム等の利用

次の一步（二歩目～）が『真のDX』へ向けて重要

業務、事業、管理等現場のマネジメントにICTの活用

仮想空間、画面を用いたマネジメントの導入（図面から画面への転換）

- 二歩目は、「多機能な仮想会議室」の利用
 - 目的に応じたマネジメント機能を持った仮想会議室の利用
 - ICTプラットフォームを用いて多機能な対応を可能に
 - 専門画面、見える手順書等の利用
- 三歩目は、使いやすく改善・拡張「マイルーム化」
 - DXを実現し、使いこなす（新たなマネジメント）

利用場面に応じた機能

JACICルームでは、はじめの一步のみならず、二歩目から三歩目を担います

はじめの一步

ファイル共有、Web会議は各利用場面で利用可能
 ※利用者は公表や一般住民等説明は除く
 ※見える手順書は一部作成

利用場面	利用者※	二歩目 専門画面 ※見える手順書	共有情報
測量・調査・設計	発注者 ↔ コンサルタント	—	成果品 図面、画像・映像、文書 3次元点群、BIM/CIM、3次元GIS
施工・事業監理	発注者 ↔ 施工者 コンサルタント	監督・検査 遠隔臨場	現場情報、帳票、協議記録、検査結果 図面、画像・映像、文書 3次元点群、BIM/CIM、3次元GIS
維持管理	管理者 ↔ 管理者 維持業者	巡視・点検 構造物管理	現場情報、帳票、カルテ、台帳 図面、画像・映像、文書 3次元点群、3次元GIS、(BIM/CIM)
災害対応	管理者 ↔ 管理者 関係機関 関係者	水防 雪寒 雨量規制 水質事故	現場情報、関連情報 画像・映像 地図、図面、文書 3次元点群、3次元GIS

仮想会議室の利用



はじめの一步

- 一つの仮想会議室を利用事案ごとに利用
 - 並行して利用する機会が多い場合は、追加契約で会議室の増加可能
- 100あるIDを利用者に付与
 - 組織や利用事案に応じてグループ登録が可能
 - 都度ゲストで招待も可能
- ファイル共有は、共通フォルダーを介して簡単にやり取り
 - 容量の大きいデータでも圧縮する必要なし
- 標準搭載以外の所有のWeb会議システムでもWeb会議が可能
- スマホ、タブレットでも参加可能

多様な機能



- 3次元GISを標準装備
 - 2次元、3次元の管内図（固有の図面）をベースとして利用可能
- 共有データや利用機能の利用者制限を設定可能
 - 利用者に応じてデータの閲覧、取得のコントロール
 - 会議室における秘密保持、セキュリティの確保
- 現場情報は、LIVE、動画、360° 画像など多彩
- 専門画面の利用
- 見える手順書（オペレーション、マネジメント、アーカイブ）の利用
- 他システムのデータの閲覧、取得も可能

マイルーム化

1

2

3

三歩目

- 専門画面の「お気に入りメニュー」の追加
 - 既存専門画面において独自の機能を追加
- 独自の専門画面「お気に入り画面」の構築
 - 独自のマネジメントを可能にする専門画面をカスタマイズ
- 独自の見える手順書の構築
 - 独自の方法で見える手順書を構築
- ICTプラットフォーム（協調領域）の利活用
 - 独自のアイデアで機能付加

業務タイプ別のルーム利用

JACICルームタイプ	利用目的 (専門画面)	利用者	利用機能	利用ツール等
一般業務タイプ	情報共有全般	所属（課、係等） 所内連絡会 関係者連絡 その他	ファイル共有 Web会議	ArcGIS（2D, 3D管内図）
プロジェクトタイプ	調査・設計 施工	官民	ファイル共有 専門画面 Web会議 仮想PC	ArcGIS（2D, 3D管内図 レイヤ管理）
定型業務タイプ	巡視 点検	官民	ファイル共有 専門画面 Web会議	ArcGIS（2D, 3D管内図 レイヤ管理） RiMaDIS連携 ワークフロー
防災タイプ	風水害・地震 雪寒 雨量規制 水質事故	関係者、関係機関	ファイル共有 専門画面 Web会議	ArcGIS（2D, 3D管内図 レイヤ管理）

DXの段階的推進

第一段階 既存方法の効率化

・ 切替、即効性 仮想会議室の利用 ICTの活用

第二段階 既存方法の高度化

・ 応用、編集 多機能な仮想会議室 DXの導入

第三段階 新たな方法の構築

・ 創造、変革 マイルーム化 DXの推進

DXの段階的推進 例：ダム管理

- 第一段階 既存方法の効率化
 - 専門画面（巡視・点検）
 - ワークフロー
 - 「現場録」
- 第二段階 既存方法の高度化
 - 専門画面 ① 管理系（堤体、設備、堆砂、水質）
② 運用系（流水管理）
 - 3次元GIS
 - 3次元による状況変化等のレイヤー管理
 - 関係機関とのデータ連携
 - クラウドによる自機関NWを超えた情報取得、閲覧

- 第三段階 新たな方法の構築
 - 専門画面（フォローアップ）
 - データの利活用（試験湛水、定期点検、フォローアップ、総合点検）
 - ドローン

【DXの段階的推進】

第一段階 既存方法の効率化

- 切替、即効性 仮想会議室の利用 ICTの活用

第二段階 既存方法の高度化

- 応用、編集 多機能な仮想会議室 DXの導入

第三段階 新たな方法の構築

- 創造、変革 マイルーム化 DXの推進

DXの段階的推進 例：河川管理

- 第一段階 既存方法の効率化
 - RiMaDIS
 - 3次元点群データ（定期測量、現場管理）
- 第二段階 既存方法の高度化
 - 3次元管内図
 - 専門画面（巡視、点検）
 - RiMaDIS + 動画、LIVE映像、360° 画像
 - ワークフロー
 - 「現場録」
 - 3次元GIS
 - 3次元管内図のレイヤ管理
 - 関係機関とのデータ連携
 - クラウドによる自機関NWを超えた情報取得、閲覧

- 第三段階 新たな方法の構築
 - 専門画面（河川管理）
 - 3次元GIS
 - 浸水想定、樹木管理、河道管理等
 - ドローン
 - 見える手順書
 - オペレーション、マネジメント、アーカイブ

【DXの段階的推進】

第一段階 既存方法の効率化

- 切替、即効性 仮想会議室の利用 ICTの活用

第二段階 既存方法の高度化

- 応用、編集 多機能な仮想会議室 DXの導入

第三段階 新たな方法の構築

- 創造、変革 マイルーム化 DXの推進